



避難訓練 ～災害への備えと心構えを～

9月1日(木)は「防災の日」です。本校では、この日に合わせて地震に対する避難訓練を計画していました。しかし、1日(木)はあいにくの空模様で避難訓練は延期となり、予備日の8日(木)も雨天であったため、訓練が実施できないままになっていました。

3度目のチャレンジとなった本日は、朝から晴天に恵まれ、全校で避難訓練を行うことができました。3連休明けの早朝ということで、子供たちの避難の動きがスムーズにいくかどうかを心配していましたが、ほとんどの子が迅速かつ的確な行動をとることができ、「自分に花丸！」をあげられると自己評価をしていました。

避難完了後、全校児童に向けて、9月1日が「防災の日」になっているわけについて話しました。まず、今から99年前の1923年(大正12年)9月1日に「関東大震災」が起き、10万人を超える方々が亡くなったことを伝えました。続いて、亡くなった方の多くは、地震の後に発生した火災に巻き込まれて命を落としたことを話し、大きな地震が起きた後には火災が起きる可能性が高いので、地震から身を守った後も、火災から身を守ることを忘れてはならないことを子供たちに伝えました。最後に、自分が家にいるときに大地震が起きた場合、火災からも身を守れる安全な避難場所はどこなのか、日頃からおうちの方とよく話をしておくことが大切であると話しました。これらの話には、どの子も真剣な表情で聞き入っていました。

私たちの住むこの地方には、近い将来、大地震が起きることが予測されています。いざという時のために、備えと心構えをしっかりとっておきたいですね。



▲緊急地震速報を聞き、急いで机の下に身を隠す1年生



▲「防災の日」の話を真剣に聞く子供たち



▲積極的に挙手をする4年生

意欲的な姿が見られた「授業参観」

9月17日(土)に、今年度3回目の「授業参観」を行いました。今回も参観者の人数を制限させていただきましたが、「授業参観」が予定通り行えて安心いたしました。皆様のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。当日は、子供たちが生き生きと学ぶ姿を見ていただけたと思います。次は、3年ぶりの開催となる10月22日(土)の「学芸会」にご期待ください。